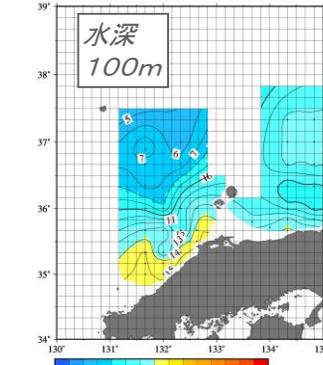
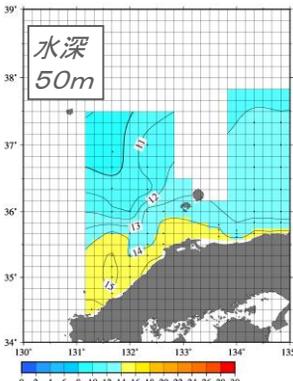


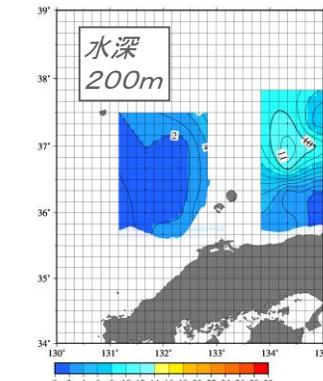
鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域の水温は13～14℃で、平年(直近20年)並み。



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域の水温は13～14℃で、平年(直近20年)並み。



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域の水温は13～14℃で、平年(直近20年)並み。



隠岐諸島北東の北緯36°40'以北に暖水域(8～11℃)があります。

## 水産試験場

### 海中の天気予報(スマート漁業)」の導入に向けてスタート

- 平成30年度より、九州大学が主体となり、長崎・福岡・佐賀県の沿岸海域の3日先までの水温、塩分、潮流の予測「海中の天気予報」を漁業者へ配信し、操業コスト(燃油、漁場探査)が削減できたと非常に好評です。
- 今年度より鳥取県もこれに参画し、鳥取県沿岸の「海中の天気予報」を漁業者の皆様へ配信する予定(R3年度～)です。
- 水温・塩分・潮流の予測を行うには、広範囲で数多くの実測データが必要となるため、現在、漁業者の皆様にご協力いただく観測態勢を構築中です。

#### 【御協力いただく内容】

- ①操業時等に水試が貸し出した測定装置を用いて水温・塩分を測定
- ②漁船に設置されている潮流計のデータを自動転送する装置を水試で設置



①水温塩分測定器を海中に投入し引き上げ、タブレット等でデータを読み取り転送

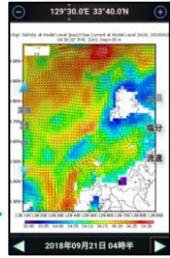


②潮流計のデータをロガーで吸い出し、タブレットで自動転送

●収集したデータは、県内2箇所の沿岸潮流観測ブイのデータと合わせて九州大学(応用力学研究所)へ送り、大学で海況予測モデルを作成し、「海中の天気予報」をインターネットやスマートフォンのアプリで配信予定です。

#### 【スマホアプリの表示例】

- 調べたい地点の、水温・塩分・潮流を各水深毎に表示。
- 3日先までの予測を表示。



令和2年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

## 西日本ニチモウ株式会社

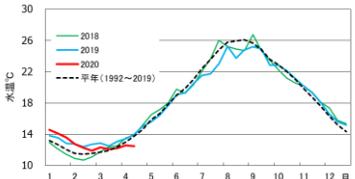
本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136  
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424  
境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330



## 鳥取沿岸の水温

鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽  
(電話:0858-34-3321)

4月中旬 12.5℃  
平年より約 1.3℃低め



### 4月上旬の水塊配置と対馬暖流

鳥根沖冷水	鳥根県沖北緯35°50'以北(10℃以下)に認められます。
山陰・若狭沖冷水	鳥取県若狭美町沖～兵庫県沖北緯36°～北緯36°30'に(10℃以下)に認められます。
対馬暖流主流の流路	鳥根沖冷水に沿って東方に流れ、隠岐諸島北方を通ると考えられます。また、山陰・若狭沖の冷水に沿ってN36°付近を東方に向かう流れも認められます。

\*県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ(鳥取県水産試験場で検索してください)に詳しく掲載しています、是非ご利用ください。

## ★水産事務所からのお知らせ★

### 県営境港水産物地方卸売市場関係者の皆さまへ

#### 新型コロナウイルス感染症についてお願い

感染症の予防・拡大防止のために、一人ひとりのマスク着用や、こまめな手洗いなどの実施がとて重要です。感染症対策へのご協力をお願いします。



- マスクの着用の徹底をお願いします。
- 入場前に自宅や事務所等で体温を計り記録してください。
- せっけんやアルコール消毒によるこまめな手洗いをしてください。
- 3密(密閉・密集・密接)を避け、人と人の間隔(2mを目安)を空けてください。
- 見学・視察者(見学者札付黄色帽)の場内・場外への入場を禁止とします。

#### 風邪のような症状がある時

発熱などの風邪症状がある方は、入場をお控えください。また、次の症状がある方は、発熱・帰国者・接触者相談センターに相談してください。

- 風邪の症状や、37.5度以上の発熱が4日以上続いている。
- 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。

#### 24時間対応

●発熱・帰国者・接触者相談センター  
☎(0859)31-0029、(0859)31-9317

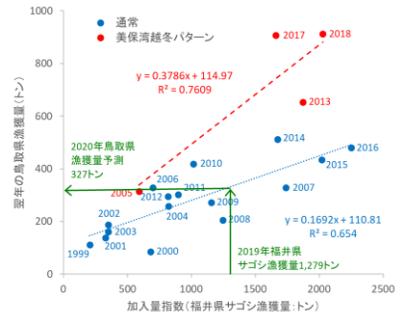
## 栽培漁業センター

### 2020年のサワラの漁獲量は327トンと予測

2018,19年と水揚げが著しく増加したサワラ。2019年の漁獲量は912トン、漁獲金額は7.6億円とともに過去最高となりましたが、2020年はかなり減りそうです。この一番の原因は、産卵親魚となるサワラ規格の群れが美保湾であり、越冬しなかったことが挙げられます。2019年はサゴシ(その年生まれの魚)の北上が例年より遅かったことを鑑みると、サワラ規格の魚も例年より北上が遅れ、また冬季の水温低下が遅かったことから、若狭湾等の本県より東側で多くの群が越冬したと考えられます。

ちなみに当センターでは、日本海へのサゴシ来遊量の指標として、サゴシの漁獲量が多い福井県の漁獲量を用い、翌年の鳥取県の漁獲量を予測しています。なお、今年の予測から、上記の美保湾での越冬行動の有無を加味し、漁獲量予測精度向上を行っています。

その結果では、今年には327トンと、前年の3分の1近隣の低水準の漁獲と予測しています。



## 潮に夢を

# 共和水産株式会社

代表取締役 岩田 祐二

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地  
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530